# 鵜江神社 岡山県神社庁 神社検索システム

#### 由緒

本神社は延喜式内社で文徳実録所載の神社であり、従五位下に叙された。

仁徳天皇の勅令により吉備津神社の5社の神殿が創建されたその1社として建立され、創建は

1600年以前とされ特に別宮と称せられた。

現在の本殿は、永禄7年(1564)西川面城山城主渡邊河内守藤原資家の寄進により再建される。 (棟札現有)また、仁徳天皇が当神社に立ち寄られたことが小田郡誌に見える。

明治40年1月神饌幣帛料供進神社に指定された。本殿は創建以降11回の屋根葺き替えを行っている。

鵜江の由来は吉備津彦命が崩御され、御体を中山の南峰に埋葬するとき、御棺が鳴動し1羽の鵜 (荒魂)が西方に飛び出て、その止まる所(当地)を鵜の里と称し、吉備津彦命の荒魂を鎮め奉らん と神社を建立した事による。

古くは流鏑馬の神事があり、名残りとして、鎌倉時代とされる弓矢等が奉納されている。また、昭和初期までは、秋の大祭に近隣(笠岡、井原、金光、鴨方、美星、真備)の大人が集って大相撲の奉納があった。

秋の大祭(4日間)では初日御波解(おはげ)祭があり大当番屋宅の庭に棟より高く竹組みを立て 降神の目印として神迎えの神事を行う。大祭最終日に昇神の神事の後この竹を氏子の当番組が倒して 持ち帰る。この竹を農耕に使用すれば五穀豊作となると伝えられている。

#### 前の写真へ次

宮司宅電話 0866-83-1080

URL

神社コード	09089				
神社名	鵜江神社(ウノエジンシャ)				
通称名	うごう				
旧社格	郷社				
鎮座地	〒714-1222 小田郡矢掛町西川面1334				
電話番号					
FAX番号					
駐車場	有 20台				
御祭神	吉備津彦命				
御神徳	五穀豊穣,学業成就,家内安全,病気平癒				
主な祭典	4月10日前後の日曜日:春季大祭(郷社祭) 6月30日前後の日曜日:夏季大祭(大祓祭) 10月第1日曜の前々日から4日間:秋季大祭				

特記事項 御波解(オハゲ)神事(秋の大祭に大当番屋宅の庭に竹組みを立て行う神迎えの神事)

氏子地域 小田郡矢掛町 (西川面)

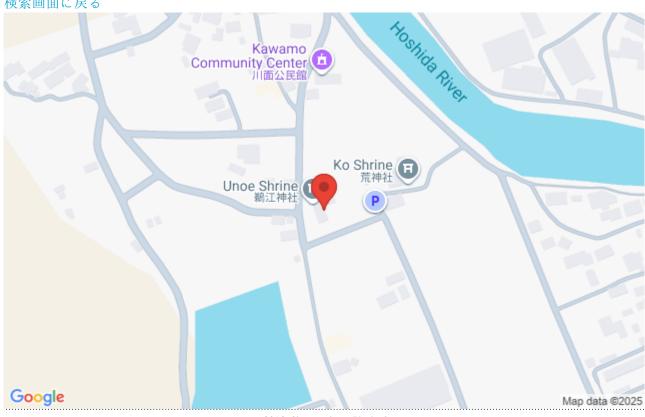
# 交通アクセス

井原鉄道矢掛駅から西へ1、5km

# 神事一覧

神楽 (備中神楽)		10月第1土曜日	文化財指定:		
1	祭礼日時:		文化財指定:	無	神事詳細
だんじり 千歳楽	祭礼日時:		文化財指定:	無	神事詳細
湯立	祭礼日時:より	10月第1日曜日の午後2時頃	文化財指定:	無	神事詳細
おはけ	祭礼日時:	10月第1日曜日	文化財指定:	無	神事詳細
五穀納め おはけの前に奉納 (素焼きの皿へ)			文化財指定:		神事詳細

### 検索画面に戻る



© 2016 Okayamaken Jinjacho